



クラブテーマ

クラブ基盤の強化と地域に根差した奉仕活動

例会報告994
(2015. 6. 15)

司会：百田 晶子 SAA副委員長

【開会点鐘】 中垣 範保 会長

【ロータリーソング】

『我等の生業』

ソングリーダー：佐藤 喜義 会員



【お客様紹介】 中垣 範保 会長

濱仲 幸弘 様 (多摩中グループ ガバナー補佐)

宍戸 隆介 様 (多摩中グループ グループ幹事)

【会長の時間】 中垣 範保 会長

皆さんこんにちは、本日は2750地区多摩中グループガバナー補佐濱仲幸弘様、同じくグループ幹事宍戸隆介様には大変ご多忙の中ご臨席賜り誠にありがとうございます。先日5月24日に開催いたしました。ロータリーデーにもご臨席賜り重ねて御礼申し上げます。

今年度一年間いろいろご指導いただき本当に有難うございました。本日もよろしく願いいたします。

さて、先週はカンボジアの教育支援について認識を新たに致しました。今週は日本の小中高等学校の学習内容の国の基準を示します「学習指導要領」についてお話しいたします。

学習指導要領は、10年ごとに改定されています。中央教育審議会が文部科学大臣の諮問を受けまして、新しい学習指導要領を検討します。教科書も基準に合わせて変わりますので、移行措置をしながら、完全実施は3年後になります。前回の実施は小学校が2011年、中学が12年、高校が13年でした。

今回の改定は、小学校で英語を教科として位置付けるために東京オリンピック開催の2020年度に合わせまして、改定の時期を前倒しすることになっています。

中学は21年度、高校は22年度に実施が予定されています。過去の主な改定では1958年に道徳が新設されました。78年には「ゆとり」教育、99年に学習内容を3割減らし、総合学習が新設されました。

しかし、学力低下が懸念されたために2009年に学習内容が1割増となりました。

さて、次期改定のポイントについてですが、知識の量だけではなく高い志を持った自立した人間育成を目指しています。何を知っているかではなくて、主体的に何ができるかという観点が大切ですから育成すべき資質・能力を明確化して、時代に合った内容になります。

教科の具体的改定は、先ず一つは英語力の強化です。小学校3年から英語が始められます。読む、書く、聞く、話す、の四つの技能を活用できる力を重視した学習内容になります。

二つ目には、真のグローバル人材を育成するために日本人らしさを養わなければなりません。日本の伝統文化や歴史を発達段階に応じて学ばせます。

高校では日本史を必須科目にし、新科目に「公共」が検討されています。

学習内容については、知識の詰め込みにならないように中身が重要視されます。社会が高度化、複雑化する中で求められるのは、リーダーシップであり、創造力、思いやりや感性です。これらは教科以外の部活動やボランティア活動でも育成されますが、学校教育の中でも当然充実されます。

また、一方で教師の資質向上も課題となっています。教員研修を充実させて、創造性や思いやりのある教師としての資質が養われます。また、教師の負担軽減と多忙さを解消する必要があります。

経済協力開発機構の調査によりますと、日本の教員は世界で最も忙しいことが判明しています。授業時間が長いのではなく、事務作業や部活動に費やす時間が増えているわけです。今は子供を取り巻く環境が多様化し、保護者会の対応や手のかかる児童生徒も増加しています。教員の負担軽減を図ることも重要な課題となっています。さて、それでは大学はどうなのかということになりますが、高校までは既存の正しい知識をいかに習得するかが課題となります。教科書は厳密に検定を受け、記載内容に不備はないか審査されます。

しかし、大学教育では教員自らが教科書を用意したり、参考書だけで講義したりすることも多く、検定制もありません。それは、個々の教員がそれぞれの専門分野について深い知識を持つという自負と誇りに裏付けられているからでございます。

大学は、多様な能力が開花する場でもあり、一律的な評価基準を学生に課すべきではありません。多くの知識や技術を習得したから高い能力が育つわけではなく、自分で課題を見つけ、その解決に向けて活躍できる自分を見つけたとき、その能力は飛躍的に伸びるものでございます。また、学問に国境はありません。これが将来の日本を、そして世界を救うかもれません。現在地球規模の環境問題や、各地で起きている民族衝突、医療技術、食糧生産など日本の国益だけを考えていては新しい道は開かれませんが、学生のうちからこうした問題に接していく必要があります。現代の学生にとって大学は単に知識を学ぶ場所ではなく、教員個人の考え方を通して、世界の解釈の方法や知識や技術を実践に移す方法を学ぶ場所でございます。そのために教員は学生にとって魅力ある実力のある指導者でなければなりません。

【ご挨拶】

濱仲 幸弘 様 (多摩中グループ ガバナー補佐)
 年度の終わりのご挨拶にまいりました。今年度はガ
 バナーのご不幸があり、スタート当初は混乱もあり
 ましたが、6月には落ち着き平穩に活動できまし
 ました。また、今年度は結末が固かったと思われま
 す。



瀬野ちどり 会員

中垣・水島年度も残すところ本日を入れ3回にな
 ってしまいましたネ！淋しい事とは思いますが
 …？

鈴木 義明 会員

濱仲ガバナー補佐、宍戸グループ幹事、一年間大
 変お疲れ様でした。

【クラブフォーラム】

司会：水島 至 幹事

2014～15年度を終えて ～委員長大いに語る～

【幹事報告】

水島 至 幹事



- 6月10日(水) R財団地区補助金委員会
- 6月11日(木) 第3回財団資金管理委員会
- 6月11日(木) 2015-16年度
R財団正副委員長会議
- 6月11日(木) 2014-15・2015-16年度
SAA委員会新旧引継ぎ会
- 6月12日(金) 社会を明るくする運動推進委員会
ひまわり苗移植、草取り
- 6月13日(土) R平和センター・ホストエリアセミナー

【委員会報告】

◆出席委員会／出席報告

金澤 昇 出席委員



会員数 43名 免除 2名 有効会員数 41名
 出席者 28名
 メークアップ済 1名
 計 29名 出席率 71%
 前々回 85%を 88%に訂正

【ニコニコボックス】

角田 桂司 親睦活動委員



中垣範保 会長・水島 至 幹事

本日は多摩中グループガバナー補佐濱仲幸弘
 様、同じくグループ幹事宍戸隆介様には、ご多
 忙のところご臨席賜り誠にありがとうございます
 です。一年間ご指導頂きありがとうございました。

・クラブ管理運営委員会

小林 康久 委員長



・会場監督委員会

田畑 哲郎 委員長



・親睦活動委員会

本多 幸雄 委員長



・プログラム委員会

横道 哲夫 委員長



・出席委員会

佐藤 喜義 委員長



【閉会点鐘】

中垣 範保 会長



東京武蔵国分寺ロータリークラブ

会長：中垣 範保 幹事：水島 至

クラブ広報・会報委員会 委員長：鍋木 孝和 副委員長：櫻井 健生 委員：井口 敏之

例会会場 国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル8F Lサロン飛鳥

事務局 国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル9F

Tel 042-323-3443 Fax 042-323-3459